

## 学びを深めるために

音楽教育 石塚真子

### 1、授業の概要

「音楽科教育法 II」は、2年生を対象に後期に開講。受講者は、25名である。

この授業は、「音楽教育の歩み、目的、内容、学習材、学びのあり方等についての基礎的な知識を身につけ、学校教育における音楽科教育の位置づけや意義について検討する。さらに、中学校の音楽科の授業構成の方法の理解、実際の授業を展開するための基礎的能力を身につけることを目的としている。

授業内容は、前半の7回は、音楽教育の基礎的な知識や音楽科の授業構成の方法についての講義、後半の8回は、全体を約3名のグループに分けそれぞれのグループのテーマに基づいて授業づくりを行った。

### 2、学びを深めるために

前半は授業づくりにおける基本的な考え方について講義を行ったが、そこで得た知識や方法が実際の授業づくりで活かされるように、授業づくりのフィードバック資料を活用した。授業づくりの考え方と実践と両側面から、自分たちで行った授業を振り返ることができるように工夫した。さらに、授業づくりについては、その回の授業者だけでなく、全員でその授業テーマについて考えるということで、全員が翌週にフィードバック資料を提出することとした。この資料については、成績評価後、「授業の歩み」(石塚作成)とともに、各自に返却する。

また、授業テーマについては、様々な領域の授業づくりを体験できるようにした。そのため、第一回目の授業時に、「歌唱」、「器楽」、「鑑賞」、「創作」、「日本音楽」、「諸民族の音楽」のそれぞれの

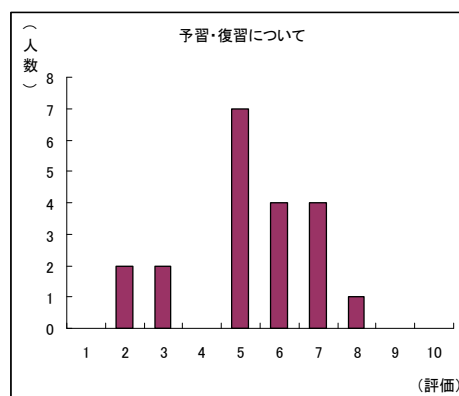
領域の授業づくりについて、どのようなことを学びたいのかアンケート調査を行い、希望の多かった内容、その領域の授業づくりにおいて欠かせない内容等から授業づくりのテーマを決めた。そのテーマに基づいてグループごとに学習材の研究、授業づくりを行った。自分の興味あるテーマに基づいて授業づくりを行うのではなく、「日本音楽」、「諸民族の音楽」のように、実際に授業を受けた経験も少ない領域の授業づくりを行うことを考慮し、約3名で授業づくりを行うこととした。

授業づくりについては、事前に個別指導を行うようにした。

### 3、学生の授業評価

後半8回の授業づくりについては、毎回、フィードバック資料を通して、学生の授業についての感想や学習状況等を把握するようにした。その他、授業の最終回に、授業アンケートを行った。(回答者数 22名)

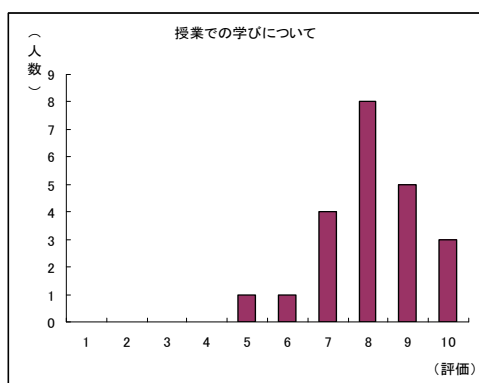
設問 あなたは予習や復習をして授業に臨んでいますか？



この他、0点と回答した学生が2名いた。フィードバック資料や授業づくりの準備等、よく

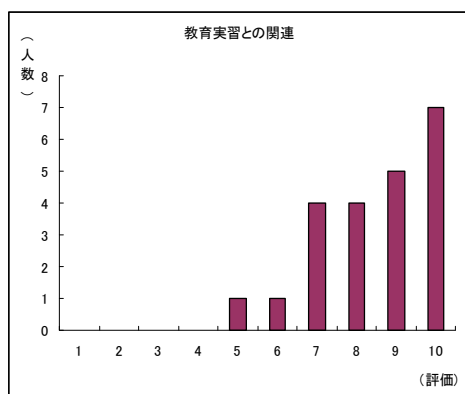
学習していたように見受けられたが、自分の担当以外の授業における予習や復習が充分でなかったようである。授業の感想（自由記載）に「テーマが決められていることで、自分が教師になれば必ずやろうであろう授業内容をまんべんなく学習できたことがすごく良かった。」とあるが、一人でも多くの学生が、このような意識を持って授業に臨めるようにしたい。

**設問** 授業で学んだことについて刺激や影響を受けますか？



授業の感想に、「模擬授業を通して新たな発見ができて良かったと思います。改善点（授業）も見つけることができ、これからの課題にしたいです。」や「ふり返りのプリントが、後々役立つと思うし、いろいろなことに気付かされるので良かったです。」とあり、実際に授業づくりを行うこと、実践をフィードバックすることで、授業づくりの基礎的な力を身につけてほしいと考えている。

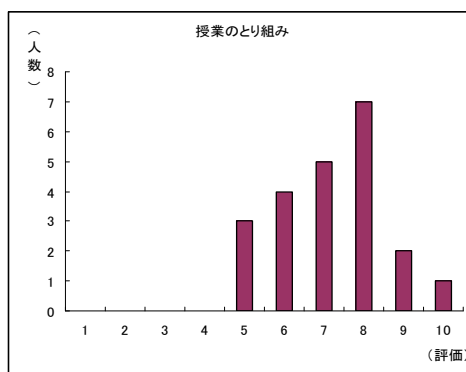
**設問** 授業の内容は教育実習に活かされますか？



「授業案をつくっても実際にやると違っていたので、そこに上手く反応することが大切だと

思いました。」や「模擬授業をすることで、将来、教師になったとき、必ずこの経験が生かせると思います。」と感想にあるが、特に、教授行為に関して、頭の中で考えたことと実際の授業に、大きなズレが生じたようであった。今後は、授業時や授業づくりの個別指導の段階で、教授行為に関する指導を行いたい。

**設問** この授業に対する教師の取り組み、さらに、あなた自身の取り組みを総合的に評価してください。



この授業アンケートは、氏名を記入しての回答である。この結果を分析すると、主に授業づくりにおける自分自身の取り組みと、それに対する教師の取り組みについての総合評価であると考えられる。時間をかけて授業づくりの準備を行い、何度も個別指導を行ったグループの学生の評価は高いが、授業づくりの準備段階で、意欲を引き出せなかった学生の評価は低い。特に授業づくりは個別の学習になるので、今後は、学生の意欲を引き出せるような支援を心がけたい。

#### 4、今後の課題

本授業は1時限目であったため、出席・遅刻に関して、個人差が大きかった。このことについては、毎時、注意を促し、個別に対応もしたが、全員が「自覚」できるには至らなかった。今後は、何か対応策を考え授業にとり組みたい。

授業については、テーマの決め方やフィードバック資料の活用等については、概ね良好であった。授業づくりに関する個別指導もできる限り行った。しかし、準備が不十分になってしまったグループもあった。今後は、取りかかりの支援と、フィードバック資料だけではなく、事後の個別指導も加え、授業を充実させたい。